



日本共産党 3月議会報告とこんだん会

4月13日、3月市議会報告と市民との懇談会が、久賀公民館と福祉交流センターで開催されました。参加者は合わせて60人。4人の市議の報告を受けて、熱心に質疑・要望が出されました。今後の活動につながる実り多い会になりました。



共産党議員団による議会報告と懇談会に参加した市民ら
4月13日、福祉交流センター

① 高齢者施策

ケアマネ増員・補聴器購入に補助、一人暮らしの見守り



遠山ちえ子

Q 取手市は、37%が高齢者。高齢者のための予算は？
井野団地で、孤独死した人がいた。1人暮らしの方に緊急通報システムを取り入れているが、地域のつながりを作ることが大切
Q 市にケアマネージャーが少なく順番待ち待機者が多

く、近隣の応援をうけている。
A ケアマネ増員や、資格更新時の補助金を提案している。
Q 補聴器補助など、他市では実現している。
A 他会派とも協力し実現させたい。

② 地域防災

安全・安心な避難生活



本田かずなり

Q 能登半島地震と台湾地震での対応の違いが浮き彫りに。自主防災組織と市が日頃から連携しなければならない。

A 避難所開設に地域の積極的なかわり等、地域防災計画の拡充を提案している。

③ 農業問題

学校（消費者）と農業を結ぶ



佐野 太一

Q 国の政策によって米価が下がって、農家は大変。JAと市議団で懇談するなど他の党派とも共同して頑張っ

てほしい。
A 学校給食に地元野菜使用の方策も提案し、JA等との懇談も取り組みたい。

④ 西口再開発

図書館は利用者本位に



加増みつ子

Q 45年前、他市に先駆けて皆の要望で図書館ができた。駅前だけに立派な図書館を、と言うのではなく、歩いて10分位の所に分館があるのがいい。
Q 外部委託という計画もあるらしいが、やめて欲しい。守谷は過去に外部委託して、

その後戻った。
Q 西口開発の問題は、取手市のまちづくりの問題。一極集中ではなく、日頃使っている公民館を使いやすくきれいにしてほしい。
A 市の一方的なものではなく、市民の声が活かされる駅前整備とまちづくりへ、図書館は市民要望にそった目的にふさわしいものへ、力を合わせます。



取手駅前への移転方針が突然発表された現在の取手図書館



日本共産党 市議会報告と懇談会に参加して 松浦和子

4人の市議の報告・提案はどれも欠かせませんが、中でも、取手駅西口の再開発ビルに図書館を移転するという計画にはびっくりしました。ビル全体への補助金だけでなく、ビルの床迄買って、そんな高額な財源を使って市政は圧迫されませんか。今でも苦しい市民の暮らしは、さらに追い詰められませんか。図書館は子どもから老人まで本があってつなぐ人がいて、一人ひとりが生きていく



ために、必要な多様なぬくもりのある公共の場です。
市は初めに結論ありきでなく、市民の声にしっかり向き合って下さいとお願いします。

“藤代小放課後子どもクラブ室内にトイレ設置を！” 求めて24年!! 遠山ちえ子

平成20年4月藤代小体育館改築時に併設され、当時からクラブ室内にトイレ設置を予定し、体育館のトイレと壁1枚隔てたところに設計されていました。それにも拘わらず未だ未設置で、平成20年6月、令和2年に、室内トイレ設置を求める請願が提出さ

れ、いずれも全員賛成で採択されています。
クラブ室からトイレが見えないため防犯上支援員を1名多く配置して見守っていますが、雨の日も雪の日も靴に履き替えて外のトイレを利用しています。当初から、支援員はもちろん子ども達からも「部屋の中にトイレをつくって！」と言われていました。
この間、クラブ室の改善要望を受けて、地域の1級建築士のアドバイスで『吸音天井板』に替え、室内に手洗い場を設置させてきました。引き続き、子ども達が安心して楽しく過ごせるように取り組みます。



奥にクラブ室、手前角に子どもが利用する外トイレ
クラブ室から死角の為、手前右側に支援員が立哨見守り



再開発事業が計画される仮設交通広場
左側奥が工事中の駅前交通広場(4月21日)

取手駅西口「A街区再開発」

再開発ビルへの公共施設導入に異議!!

教育委員会にも諮らず 市民合意なき図書館移転計画

トップダウン 図書館等「複合施設整備方針」

仮称「取手駅前開発を考える会」(発足呼びかけ人8氏)は、4月19日、市都市整備部とヒアリングを行いました。

取手駅西口前に地権者組合が計画する「再開発ビル」の床を市が購入し、公共施設を整備する方針について「会」は、決定の経過を質しました。市広報は「駅前への取手図書館移転が決まったと読める、どのような検討がされたのか」と質問。市は「全庁的な機構『駅周辺再生本部』で検討し方針を決めた」と答えるものの、図書館を所管する教育委員会や図書館協議会など公式会議で検討がされていないことが明らかになりました。

取手駅前民間再開発ビル内に、取手図書館など「複合公共施設整備計画」を発表した3月15日号市広報に、「議会も、教育委員会にも図らずにいつだれが決めたの」など市民の批判が広がっています。

再開発補助金とビル床購入に約80億円 巨額の公費負担は市民に耐えがたい負担に

市民の合意形成もなく、必要な専門部署での検討も行わず、秋には都市計画決定という乱暴な進め方は、駅周辺とまち全体にさらなる衰退の危険すら心配されます。

市民の合意形成もなく、必要な専門部署での検討も行わず、秋には都市計画決定という乱暴な進め方は、駅周辺とまち全体にさらなる衰退の危険すら心配されます。

区画整理に219億円の財政負担は、市民に身近な基盤整備を遅らせ、市民福祉の諸制度の低下を招きました。これ以上、市財政の取手駅西

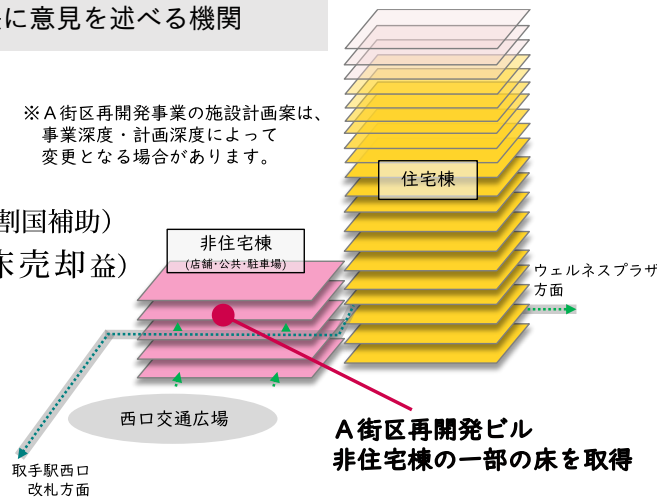
図書館協議会＝図書館運営に関し、館長の諮問に応じるとともに、利用者・住民の要望を把握し、市民へのサービスを行う図書館奉仕について館長に意見を述べる機関

■ 収支計画(概算)

総事業費 143億円

財源・再開補助金 38億円 (5割国補助)
内訳・保留床処分金 105億円 (床売却益)

※A街区再開発事業の施設計画案は、事業深度・計画深度によって変更となる場合があります。



階数： 1～5階
専有面積 7,100㎡
・店舗・駐車場 2,600㎡ (内訳不明)
・図書館等 4,000～4,500㎡ (市がビル床購入)

階数： 2～25階
専有面積 14,000㎡
約200戸

非住宅棟 (公共施設・店舗・駐車場)

住宅棟

全体
地上25階建て、延べ床面積 36,000㎡

(2月29日議員全員協議会資料より)

自民裏金事件

国民の 6割「納得できない」 真相解明なく お手盛り処分

岸田首相も二階氏もおとがめなしのお手盛り処分に、5日のマスコミは「解明なき幕引き許されぬ」(毎日)、「これでけじめになるのか」(産経)などすべての全国紙が批判。NHK 世論調査(8日)で、裏金「処分」に、「納得できる」が29%に対し「納得できない」は倍の63%。首相の「処分」見送りは「妥当ではない」は61%に上りました。

証人喚問で徹底解明 金権腐敗の自民に審判を

衆院東京15区、島根1区、長崎3区の3補欠選挙が28日投票で、自民党派閥の政治資金パーティーを巡る組織的な裏金づくり発覚後初めての国政選挙。公職選挙法違反で有罪、裏金事件で責任を問われ辞職に追い込まれるなど、いずれも金権腐敗の自民党議員の辞職などによる補欠選挙となり、岸田自民党政権への厳しい審判が問われます。



衆院東京15区補欠選挙でアピールする左から市民連合宇都宮氏、榊原衆院議員、社民福島氏、酒井なつみ衆院候補、共産田村氏、立憲蓮舫氏と司会の吉田衆院議員
=16日、東京都江東区(しんぶん赤旗より)

「取手駅前開発を考える会」(準備会)がシンポ

取手駅前開発とまちづくりシンポジウム

5月18日(土)AM9:30～12:00

福祉交流センター多目的ホール (取手市役所前)

区画整理・再開発対策全国連絡会議 遠藤哲人氏
元日本図書館協会理事 小池信彦氏らを迎え

取手駅西口前に計画される「再開発事業」と図書館など複合公共施設の整備に関心と疑問が広がる中、「取手駅前開発を考える会」(仮称)はシンポジウムを計画、広く市民の参加を呼び掛けています。 資料費300円(高校生以下無料)